

2017年12月1日

MANGA ナショナル・センター構想の実現に向けた要望について

このたび、「立川まんがばーく」と密接な関係であり代表的な同種施設である「京都国際マンガミュージアム」が、地方を拠点とするマンガ図書館・ミュージアムと共に、マンガ・アニメ・ゲームに関する議員連盟が掲げる「MANGA ナショナル・センター構想」の実現に向けた要望を実施することとなりました。「立川まんがばーく」も共同要望へ賛同します。

「MANGA ナショナル・センター構想」の実現に向けた要望は以下の通りです。

記

1 要望先

マンガ・アニメ・ゲームに関する議員連盟（MANGA 議連）

2 要望日時・場所

MANGA 議連総会内で要望

- < 総会 > ・日時 平成29年12月5日(火) 16時30分～17時30分
・場所 衆議院第1議員会館 第1会議室

3 対応者

京都国際マンガミュージアム荒俣宏館長（21施設・団体を代表して要望文を提出）

4 要望施設・団体

地方を拠点とするマンガ図書館・ミュージアム21施設・団体

共同要望の発起人 6施設・団体（50音順）

北九州市漫画ミュージアム、京都国際マンガミュージアム、NPO 法人熊本マンガミュージアムプロジェクト、新潟市マンガ・アニメ情報館、明治大学マンガ図書館、横手市増田まんが美術館

共同要望への賛同施設 15施設（50音順）

石ノ森萬画館、川崎市市民ミュージアム、GALLERY タマリン館、合志マンガミュージアム、少女まんが館、昭和漫画館青虫、高島華宵大正ロマン館、宝塚市立手塚治虫記念館、田河水泡・のらくろ館、立川まんがばーく、千曲市ふる里漫画館、ちびまる子ちゃんランド、富永一朗あづま漫画廊、新潟市マンガの家、松本かつち資料館

5 要望内容

日本のマンガ・アニメ・ゲーム (MANGA=Manga ANimation GAmE) といったコンテンツは、海外で高い人気を博しており、世界中の人々から愛される文化であると共に、産業面においても更なる成長が期待されています。一方、このジャンルでは、日本の文化財ともいえる作品や関連資料の散逸、作品等の収集やアーカイブ作業を担う人材育成の遅れなど、さまざまな課題を抱えています。

こうした課題の解決に向け、現在、マンガ・アニメ・ゲームに関する議員連盟が掲げる「MANGA ナショナル・センター構想」に基づき、国等において、「①資料の蓄積」、「②人材の育成や産業振興」、「③点在する関連施設の連携拠点としての国際的な情報発信と人の交流の促進」を目指す拠点「MANGA ナショナル・センター（仮称）」の整備に向けた検討が進められています。

我々、地方を拠点とするマンガミュージアム・図書館 21 施設・団体は、「原資料の散逸防止」や、「体系的なアーカイブの構築」、「人材育成」等について、国が積極的に取り組むことに賛同すると共に、これらの取り組みの全国的な広がりに向け、次の点を要望します。

「MANGA」に対する国の意思の明示と発信

このジャンルに関わる「原資料の散逸防止」、「体系的なアーカイブの構築」、「人材育成」について、国がその必要性を明示し、広く社会に発信すること。

全国的視野による既存施設に対する支援

上記の新たなセンターを含む全国の拠点形成と施設間ネットワークを構築し、既存の地方施設の運営面等に対する支援を強化すること。

アーカイブの形成と活用に対する支援

新たなセンターのアーカイブを既存の地方施設でも利用できるようにすると共に、既存施設のアーカイブの形成や活用を推進できるよう、専門的な人材の育成等を支援すること。

<参考> マンガ・アニメ・ゲームに関する議員連盟 (MANGA 議連)

マンガ、アニメ、ゲームの振興や海外展開促進、アーカイブ施設の設立、クリエイターの就労環境の改善、海賊版対策等をめざし、超党派の国会議員により平成26年11月18日に設立。

※ MANGA=Manga, ANimation, GAmE

以上